

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

テーマ 「移住促進」

〔開催概要〕

日時:平成29年12月4日(月)18:00~19:10

場所:東部保健センター

※平成29年度 第5回目

平成30年1月

鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成29年12月4日(月)18:00~19:10
場所:東部保健センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鹿児島県NP O団体ネット ワーク協会 男性	① 企業誘致や移住の取り組みをやってきました。都市圏での移住相談、広報活動をやっているかと思うが、その手法だけではどうかと感じる。広報のやり方の工夫が必要。移住をテーマにした、冊子はあると思うが、専用のチラシを作ってはどうか。観光パンフレットは色んなところにある。鹿児島市の意欲も伝わり、移住者確保につながる。また、市の専用サイトや、フェイスブックでも良いが、新しい手法を使うことが大事だと思う。	① 私どもも、移住促進に努力をしておりますし、企業誘致の取り組みも進めておりますが、なかなか移住、企業誘致につながらない所も現状でございます。やはり移住をする先の状況がしっかりと頭の中に入って、そして色々考えられて、良いという判断であれば移住されるということであると思いますので、情報をより詳しく、広く発信することが大切だと思います。今、どの自治体も同じような取り組みを進めておりますが、東京一極集中と言われながらも、期間も経っており、なかなか是正されないということが、それぞれの地域の魅力がまだまだ発信されていないのが現状であると思います。観光だけではなく、それとリンクしたいろいろな手段を活用した情報伝達をしっかりとしていかなければならないと思いますし、ネット、フェイスブックについても、独自のものをやっていかなければならないと思います。我々もその観点から取組を進めてはおりますが、現状として少し足りないということをご意見として賜りましたので、担当部署に検討させてみたいと思います。	企画財政局 産業局	【企画財政局】 移住に関する情報発信については、現在、PR動画やパンフレット等を活用し行っており、今後とも、移住促進に向けて広報の充実を図ってまいりたいと考えております。 【産業局】 産業創出課では、企業誘致のための首都圏等での企業訪問活動、展示会への出展及び企業立地ホームページを活用した取組とともに、クリエイターの移住促進のための情報発信として、本市ホームページや専用WEBサイト・フェイスブック、移住関連団体のWEBサイトの活用のほか、クリエイター向けの情報サイトへのバナー広告の掲載など、移住希望者に情報が届くよう努めているところです。今後も引き続き効果的な情報発信の方法を検討していきたいと思います。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成29年12月4日(月)18:00~19:10
場所:東部保健センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	Enjoy! 転勤ライフ 女性	② 転勤族の妻達の会をやっている。転勤族にとっては、最終的にどこに住むのかというのが大きなテーマとなるが、子どもが大きくなると、鹿児島は情報も少ないし、進学先も少なく、十分な収入が得られるのかなど、子どもが自己実現できる環境があるのかというのが不安としてある。テストの学力ではなく、考えて何かを発掘するなど、本当の意味での能力を開発するような環境があることが大切で、特色のある教育を行うことで移住促進にもつながると思うがどうか。	② 転勤族の方々がおっしゃるように、鹿児島での住みやすさ、生活のしやすさ、収入の面とか、企業があるということなどが、その地域に住む要素になると思います。今、鹿児島市には6つの大学がありますが、大学と包括連携協定を結んでおり、それぞれの大学においては、いかに鹿児島を未来に向けて支えていく人材を育成して頂くかということに力を入れて頂いております。また、企業の皆様にも、自分達の企業の良さや、企業が鹿児島にどういう役割を果たしているかなどを教える意味で、学生の方々を集めて色々勉強、研修をされております。教育県と言われておりますけれども、私の同級生などもほとんど県外へ出ており、帰ってきません。やはり、地方と比べて都会の方が利便性が高いということで、今までは大都市一極集中になっておりますが、それをいかに地方に分散させるかというのは、国が一つの大きな政策として掲げておりますので、それぞれが知恵を出し、また行動することで、それぞれの地域の魅力、独自の対策をしていかなければならないと思います。鹿児島市内には6つの大学があり、高校は市立は3つ、県立、私立の学校もあり、学校の経営者等の集まりなどで、県全体の教育の在り方についても、常日頃から連携をとっております。若者をしっかりと育て、若者が鹿児島に留まってもらえるような取組を進めたいと思います。大学には、県外からもたくさん来られておりますので、そういう方々が就職する際に鹿児島の企業に勤めていただくことで、将来に渡っての環境づくりにつながっていきます。そういう意味でも、学校との連携を密にしていく必要がありますし、連携中枢都市圏として鹿児島市周辺の自治体とも連携をしながら、地域の魅力をさらにしっかりとお伝えすることが大事だと思います。取組を進めてはおりますが、まだまだ環境が改善されていないのが実情でございますので、今後更に本腰を入れて取り組んでいきたいと思っております。	教育委員会 企画財政局 産業局	【教育委員会】 教育委員会としましても、自然体験や社会体験を充実させたり、児童生徒自らが課題を見つけ、その解決に向かって調査活動等を行う探究的な活動の充実が図られるよう、各種事業を推進しているところです。特に、ふるさと教育の推進としましては、小学校において、郷土の偉人を取り上げた教材等を活用するとともに、地域の人材や外部講師等による、郷土教育の体験活動を推進しています。 【企画財政局】 市長回答のとおり 【産業局】 29年度に若者の地元定着やUターンに資する取組について、産学官で連携して検討を進める会議を設置し、職業教育における職業観の醸成や若者等への地元企業に対する理解促進を図るための取組等について協議しているところです。

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成29年12月4日(月)18:00～19:10
場所:東部保健センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	NPO法人日本予防医学推進協会 男性	③ 健康を軸としたまちの魅力を作っていく必要があるのではないかと思う。経済産業省の委託事業として、1次予防としての健康教室をやっている。病院任せではない健康づくりである。地域の中での連携も生まれ、一人あたりの医療費が削減された推計も出ている。これを地域に広げるにあたり、都会に出ている子供たちに健康教室の費用を補ってもらう、ふるさと納税で賄ってもらうなど、市とタイアップして、実際にできないか。健康寿命を延ばし、魅力あるまちにしていきたい。	③ 健康寿命を延ばすというのは、大変大きな命題だと思いません。今、社会保障関係は、相当予算が増大しており、鹿児島市の場合、年間予算の半分は社会保障費です。中でも医療費、医療費の中でも、介護、健康保険などが伸びております。鹿児島市は、病院等も多いとのことで、老後、鹿児島市外から市内に移り住んでいるという方が多いのも現状でございます。1次予防というのは、今後病気を減らす、健康を維持するという意味で大変大切なことと思いますので、鹿児島市としてどういう役割が果たせるかというのは、担当部局において、どういう形で健康寿命を延ばす取組ができるのか検討させてみたいと思います。また、個人、事業主、行政がそれぞれの役割をしっかりと果たしながら、そこに住む方々の健康寿命をいかに延ばしていくかということ、しっかり政策に反映できればと思いますので、また南さつま市等の事例について、教えていただければと思います。	健康福祉局 産業局 企画財政局	<p>【健康福祉局】 本市では、平成25年度から10年間の計画である「かごしま市民すこやかプラン」を策定し、子供から高齢者まで、全ての市民がともに支え合い、健やかで心豊かに暮らすことができるまちを目指し、市民が主体的に取り組む健康づくりを推進しています。また、事業所との協働で、働く世代の健康づくりに取り組んでおり、従業員や家族への健康情報の発信や相談、健康教室の実施などのサポートを行うことで、健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指してまいりたいと考えております。</p> <p>さらに、保健所では生活習慣病予防、介護予防のために、運動の実技や減塩食の試食などを取り入れながら、体験型健康教室を実施しております。また、検診結果等を踏まえた個別指導の充実を図るなど、健康寿命を延ばすための取組を実施しているところであります。ご紹介いただきました事例につきましては、実績・効果等を参考にさせていただき、本市の現状を踏まえながら、更なる健康寿命を延ばすための取り組みの充実を図ってまいります。</p> <p>【産業局】 健康寿命延伸に寄与するヘルスケアビジネス創出に取り組む企業等に対し、セミナーの開催、専門家による個別コンサルティング、企業間・産学間のマッチング、新サービス等の開発に対する補助金等を通じて、その事業化を引き続き支援していきます。</p> <p>【企画財政局】 市長回答のとおり</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成29年12月4日(月)18:00~19:10
場所:東部保健センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	合同会社「むすび」 男性	④ 私自身、鹿児島にIターンした。鹿児島は食べ物美味しい、自然がたくさんある、東京に比べ都市のサイズ感が丁度良い。まちの魅力は、若い人たちが、希望が感じられ、面白そうだなと思ってもらえることが行ってみたい理由となる。また、起業しやすいというのも魅力の一つであるが、気軽に話せる、対話ができているということから新しいものが生まれやすい。 富山県氷見市や静岡県牧之原市などは、行政主導で取り組みを行っているが、行政の中でも対話の場づくりが必要で、地域の方との対話の機会の場を増やしていくなどの取り組みが大切である。	④ 私自身が感じておりますのは、色々な方々がおられて、様々な意見を持っており、色々な知恵を持っている方もたくさんおられるということでもあります。市長とふれあいトークでも、これまで8,000人を超える方々とお会いしております。13年市長をさせていただきまして感じますのは、人と人の対話をする事で、まちづくりなり、鹿児島市の将来へ向けた色々な政策が生み出されると感じております。職員も、それぞれのテーマを持って、町内会とかいろいろな団体が話をしてくださいということであれば、それぞれの部門でテーマごとに説明をするという機会も持っております。また、ご提案をいただきました職員同士の対話というのも、とても大切なことであり、私からも職員に対してそのような指示をしておりますし、職員の中でもそのような意識は高まっていると思っております。今、鹿児島市においては、コミュニティというものを大切にしており、それぞれの地域のコミュニティをしっかりと進めていき、それが地域全体に広がることで、今後将来に向けての発展につながるということで、地域コミュニティの協議会を作っておりますが、そこに住んでいる市の職員が中心となってほしいと思っております。その取組は順次進めておりますので、市民との対話がいかに大事かということは、市の職員も全職員が思っていると思いますので、その取組にも積極的に参加するよう、またそれぞれの幹部にも伝えたいと思います。	市民局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成29年12月4日(月)18:00~19:10
場所:東部保健センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	Enjoy! 転勤ライフ 女性	⑤ 鹿児島市役所の建物は道路を挟んでいくつかあるが、道路から見たときに、どこが西別館なのか、ここに東部保健センターが入っているのか、見てわからない。転勤や移住してきて、初めに来るのが市役所であるが、案内板がわからない時点で歓迎されていない気分になる。どんな人が来てもしっかりやすいというのが大切である。	⑤ 鹿児島市の庁舎の案内については、色々とそれぞれ掲示をしておりますが、いま仰ったようになかなか分かりにくい部分もあるかと思っておりますので、現在、改善を検討しているところでございます。	企画財政局	現在、本庁舎の整備を進めており、駐車場等が一部変更となることから、庁舎の配置や駐車場の位置を記載した案内表示板を設置する予定でございます。また、本庁舎内の案内につきましては、本館や別館の入口にデジタル式の案内表示板を設置することとしており、これにより、タッチパネルを使用して、課名や用件の内容を検索することで、目的部署の配置図等が掲示されるなど、より分かりやすい庁舎案内となる予定でございます。
6	鹿児島県NPO団体ネットワーク協会 男性	⑥ 先日、「移住者の集い」というイベントを実施したが、移住してきた方々のネットワークづくりが大切である。中には逆ターンしてしまう人もいる。いつでも移住者が集える場所がなかなかない。常時サロンの、市の施設などを開放していただき、そこに行政、市民参加という形が取れれば、移住者を呼び込む大きなインパクトにもなる。	⑥ 集える場というものを新たに作るということは今のところ考えておりませんが、場の提供というものは是非しなければならないと思います。公共施設がいくつかありますので、活用していただければと思いますし、具体的なお話をいただければ、それぞれの公共施設で場の設定をできると思います。 現在、ソフトプラザかごしまをリニューアルしており、これは情報関連産業の支援施設であります。今後は、クリエイティブ人材の育成とか、起業、コミュニティの形成に積極的に取り組んでいこうという方々が、これはあくまで仕事関係ですが、そこで事業を始める場合に積極的に活用していただくために会場を整備していきますので、ぜひ活用していただきたいと思います。 また、海外の方々との交流ということで、県と市が協働で国際交流センターの建設を市立病院跡地で進めており、31年度完成予定であります。今の予定では、1フロアに200名くらい集まるという施設も作るようにしており、そこは365日開いていると思いますので、外国から来られた方々と地域の皆様方との交流ということで、是非そういう施設も利用していただければと思います。 特定のためだけに、ずっとそこをオープンにしていくということは難しいかと思いますが、国際交流センターにおいても、外国から来られた方を交えて、移住者の方々なども交流できると思いますので、そのようなことについても、インフォメーション等を行っていききたいと思います。	企画財政局 産業局 総務局	【企画財政局】【総務局】 市長回答のとおり 【産業局】 ソフトプラザかごしまをリニューアルし、クリエイティブ人材の育成支援やこれら人材が多様な事業者等と交流・連携する拠点施設として整備します。当施設には交流スペース等も設置し、移住してきたクリエイターをはじめ、地元クリエイターや多様な事業者等とのコミュニティ形成を支援していきます。
7	NPO法人日本予防医学推進協会 女性	⑦ 1次予防の健康教室について、南さつま市や日置市では、この取り組みをやってみようという話になったが、鹿児島市は大きすぎてどんな形でどこに話を聞いていけば良いのか分からないので教えてほしい。	⑦ 今、南さつま市、日置市がどういった形で最初に取り組まれたのか、そこは事例等もお聞きしなければならないと思いますし、鹿児島市の場合は施設を持っている方々もたくさんおられますし、健康関係は健康福祉局が担当しており、そこには保健所、福祉、介護の関係もありますが、健康寿命ということになりますと、保健所が担当かと思っております。また、地方創生とかそういったものにも結びつくかもしれませんので、そういった意味では企画関係ですし、そこはまた関係部署から連絡をさせます。	健康福祉局	ご紹介いただきました事例につきましては、実績・効果等を参考にさせていただき、本市の現状を踏まえながら、更なる健康寿命を延ばすための取り組みの充実を図ってまいります。(保健予防課)

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成29年12月4日(月)18:00～19:10
場所:東部保健センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	Enjoy! 転勤ライフ 女性	⑧ 3人子どもがいるが、授業参観に行くと、担任の先生が一人なので、一人の子にずっとかかっていると、なかなか次の子に進めない。鹿児島は、学力が上位ではないと思うが、秋田では、担任の先生とは別にフリーで動ける先生がおり、学力の底上げを図っている。こういう取り組みを鹿児島でもできれば、移住の促進にもつながる。	⑧ それは本市でも既に実施しております。教員の配置のほか、学校の校長先生を定年で辞めた方などに、ボランティアで補助的な先生をお願いしています。それぞれ規模がありますので、なかなか全学校でそれを取り組むということは難しいところですが、学校によっては生徒が多くてなかなか手が回らないということで、補助的な先生としてお願いしているところ です。そのことが情報としてまだまだ発信されていないのが一つの不安になっているのかなと思います。教育委員会に情報の提供についてもしっかりと指示をしておきたいと思 います。	教育委員会	本市においても、指導法改善加配を配置し、チームティーチングや習熟の程度に応じた少人数指導を行っています。これにより、子どもたちには、「授業が分かりやすくなった」、「楽しくなった」等の学習意欲の向上につながるなどの効果が見られます。少人数指導により、きめ細かな生徒指導が行われ、学習行動の改善、欠席や不登校の減少につながり、学力の向上にもつながるなど、その効果が期待される ところです。また、学校支援ボランティア事業の中で学校からの要望にもとづき、地域の方々にボランティアで先生方の授業を支援していただく取組を行っています。 今後は、さらに各取組みの周知・広報に努めるとともに、事業の充実を図ってまいります。
9	鹿児島県NP O団体ネット ワーク協会 男性	⑨ パラグアイから鹿児島に来て12年になる。外国人へ向けて、鹿児島市に来てもらうための取り組みをお聞きしたい。	⑨ 留学生に対する支援としては、図書券や交通乗車券の配付をしております。また、鹿児島市にお越しになっている外国人の方々の集いを国際交流財団が主催して実施しております。今後においては国際交流センターを建設しますので、そこで交流の場を提供したり、海外から来られている方の料理教室を開いていただいたり、海外から鹿児島に家族で来られた時の住まいの提供、留学をして学校に通う人たちの単身の部屋の確保などを考えております。平成31年、あと2年後に建設、設置を予定しておりますので、そういった施設をご利用いただきたいと思 います。海外からも多くの方々がお越しになっておられますし、市民との交流をどんどん促進していくことで、逆に海外から来られた時に、鹿児島に住んで生活をしたいという機運の盛り上がりになると思 います。 また現在、台湾、香港、タイ、インドネシア、上海などにおいて、鹿児島 の企業として進出している方々に、鹿児島版の大使館ということになっていただい て、そこに鹿児島に来てくださいという観光パンフレット等を置いていただ いています。また、鹿児島で働いたり、鹿児島で色々なネットワークを作っ ていただいている人たちに、それぞれの国に帰った後も、鹿児島から色々 情報発信をして、その人たちがそれぞれの国の人たちに情報を教えていただくための取組を進めております。できれば全世界に鹿児島 の領事館みたいなものを作りたいと思 いますけれども、鹿児島から進出した企業に積極的に取り組んでいただく必要 がありますので、それぞれの国に行かれた企業の人たちにも、従業員もそこの国の人たちが雇用されておりますので、そういう人たちに是非鹿児島に来ていただけるような取組を進めてまいりたいと思 います。	総務局 観光交流局	【総務局】【観光交流局】 市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する対応方針

日時:平成29年12月4日(月)18:00~19:10
場所:東部保健センター

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	Enjoy! 転勤ライフ 女性	⑩ 転勤者の妻が集まる集いの場を作っているが、広報がとても大変である。仲間がいるということだけで安心感があるので、少しずつでもまずは目につくことが重要である。鹿児島に来た方はまず初めに市報はよく読まれるので、市報などで少しでも欄を設けていただいて、そういう広報を載せていただけないか。	⑩ そこは行政だけでなく、民間主導で輪を広げていくことも必要ではないかと思えます。民間の方が積極的にそういう活動をしていくことで、市としても支援、参画をするということであれば、皆様方に情報、取り組みをお知らせすることはできるかと思えますが、市政広報誌には、民間の取り組みを何でも載せられるということではないので、その点をご理解いただきたいと思えます。	企画財政局 総務局	【企画財政局】 市長回答のとおり 【総務局】 広報紙「かごしま市民のひろば」は、市の各種事業や市政の動向を市民の皆さんにお伝えしています。市民や民間事業者の方々の活動については、個別の告知は行っていませんが、市政に関わりのある取組などについて、ご紹介することもあります。ご意見は、今後の参考にさせていただきます。
11	Enjoy! 転勤ライフ 女性	⑪ 転勤者の集いを普段開催しているが、もっと市の方とタイアップして何か活動ができればと思う。市にとっても、転勤者との話の場があれば、他の都道府県と鹿児島との差などの情報収集ができると思うし、友人等が鹿児島を訪れてくれるケースもかなりあるので、観光の面で鹿児島島のファンを作るためにも一役かえらると思う。	⑪ いくら書類で広報しても、見てくれる人もいるし、見ない人もいます。一番大切なのは、人と人とのつながり、人の口コミですね。行ってみて鹿児島はおもてなしが良かった、行ってみて良かったということが、集客にもつながりますし、移住、定住にもつながると思います。それぞれ移住された方々の色々な環境、思いというのが、今後市としての対応策にもつながると思います。是非市としても皆様方からのご意見をお聞きしながら、色々な対応をしていきたいと思えます。また担当にも伝えたいと思えます。貴重な意見をいただきありがとうございます。	企画財政局 観光交流局	【企画財政局】【観光交流局】 市長回答のとおり